

建設 アスベスト

最高裁前で訴える

夕方まで支援団体へ要請

2019年建設アスベスト判決を求めて訴えました。のたたかいは、1月10日の行動から始まり、午前中、原告、弁護団、支援者などで最高裁判所の書記官を訪ね、原告を中心に公正

判決を求めて訴えました。正午からは最高裁通用門前で宣言。「最高裁第1小法廷は、建設アスベスト被害に苦しめた国や製造企業に、もっとも厳しい判決を下すことをのぞみます」と力強く訴えました。宣伝行動に参加した遺族原告の森川順子さん(江戸川)は声を詰まらせながら「早く解決してほしい」と話してくれました。



退場する従事者に入浴剤などを渡す行動参加者

12月20日、2018年最後となる新国立競技場現場前での宣伝(東京都連、全建総連主催)を行ない、東京土建からは39人の仲間が参加しました。

冬至も間近で冷え込みが厳しくなる中、退場する従事者に入浴剤、マスク、ティッシュを入浴剤、マスク、ティッシュ

現場の声を組合へ

18年締めの新国立宣伝

ユなどとともに「現場で困っていることはありませんか」となる新国立競技場現場前での宣伝(東京都連、全建総連主催)を行ない、東京土建からは39人の仲間が参加しました。

退場する女性労働者に現場の状況をたずねると「いい感じですよ」という回答もありました。

西部B・PALボウリング

支部越え楽しく



【世田谷・書記・原孝行記】1月6日に笹塚ボウルにて西部ブロックのPALの交流会イベント「新春ボウリング大会」を開催し、5支部30人の参加がありました。

ク幹事支部である世田谷支部でPALの会事務局長の松下さんより頂戴し、世田谷支部PALの会会長の島田会長が始球式を行ない(2ピン倒しました)ゲームスタート!2ゲーム終了したのちに施設内の貸し切りスペースで懇親会&成績発表を行いました。「誘われてきたら楽しかった」「普段顔を合わせない他支部と交流が楽しかった」といった感想も聞かれ新年の門出に相応しい和やかな会となりました。次年度幹事支部の杉並支部佐藤さんに締めあいさつをもらい閉会しました。

練馬 憲法無傷で渡す 3000万署名&宣伝

【練馬・書記・田崎遊記】1月14日、練馬支部も参加し、練馬区内の労働、市民団体などで作る「戦争法NO!ねりま集会実行委員会」の呼びかけで3000万人署名の2019成人の日一斉宣伝・署名行動に取り組みました。

成人のついでに会場であるとしまへんのほか、練馬駅、石神井公園駅、大泉学園駅、光が丘IMA前の区内5カ所から37人を含む126人が参加しました。3000万署名は157筆が集まりました。としまへん前では、7000人を超える練馬区の新成人へ「戦争しないと世界に誓った日本国憲法、今こそ守りたい」とメッセージをのせたオリジナルウエットティッシュを配布。デザインにも工夫をこらしたせいか受け取りも良く、用意した1000個を配り切ることができました。

参加した貫井分会憲法平和対策部長の坂大和さんは成人のついでに参加するお孫さんへも「憲法を無傷で若者に手渡したい」と署名を訴え、快く署名をしてもらいました。

19年は必ず賃上げ

春闘訴え恒例の新春宣伝



横断幕を持ち宣伝する仲間

冷え込みの厳しい早朝、新宿駅西口の小田急百貨店前を通動する労働者が行きかいます。1月8日、東京土建が加わる東京地評などで構成される国民春闘共闘の仲間たち約60人は、新春恒例の駅頭宣伝を行いました。この宣伝は池袋、丸の内でも同時に実施。「最低賃金は全国一律でだちに1500円以上に」「改憲」いらぬ平和が「憲法」を守りぬくことを願う。労働組合の作り方の

「賃上げろ 税金上げろ」の横断幕を持ち、労働組合の作り方の

新宿

3代目で初参加

ビンゴの景品に道具を



初参加の竹川さん(右)はクリナーをゲット

【新宿・書記・大槻遼平通信】後継者対策部が12月26日、新宿支部会館で、大交流会を開きました。昨年度より後継者のイベントが中止や企画倒れが続いていた中で、どうやら人が集まるか部会内で話し合い、自分たちが欲しいと思う仕事の道具が当たるビンゴ大会を思いつきました。ジャンボハガキDMを50歳以下全組合員約1000人に送って声掛けを積極的に行なった結果、組合に入って3代目で、組合行事初参加という人や、子連れでの出席、直属事業所からの参加があったり

と、普段後継者対策部のイベントにはない顔ぶれが集まりました。ビンゴ大会は予想していた通り盛り上がりでしたが、「色々な職種の職人さんとも知り合え、今後の付き合いのきっかけになれば」と参加者から感想が出るほど既存の後継者部員や青年部員とも大いに「大交流」をもてた会となりました。2月にはスキー&スノーボード&温泉旅行も企画し、後継者世代の仲間が団結して、業界を盛り上げていきます。